

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時 (H18年11月30日)</p>	<p>工学部知能機械工学科、電気工学科の入学定員超過の是正に努めること。</p>	<p>平成19年度入試については、全国の大学入学定員と18歳人口から算出される進学者数が同一となる統計上の全入時代が到来するとの認識に立った上で、合格判定等に臨んだ。その結果、大学全体の「入学定員超過率」は1.18倍、「平均入学定員超過率」は1.19倍となった(学部学科毎のデータは別添のとおり)。</p> <p>また、認可時の留意事項の対象となった工学部知能機械工学科および電気工学科の「平均入学定員超過率」の状況は、知能機械工学科1.31、電気工学科1.32と若干悪化する結果となった。</p> <p>この要因は、志願者を取り巻く内外の環境が非常に厳しい状況下にあつて、今次認可前の11月に実施された一般推薦入試の志願者数が大幅に減少し、一部学科での定員割れが危惧されたことから、2月の一般入試(3科目入試、大学入試センター利用入試)において、歩留まりを低く見込んだことにある。予測に反し辞退者が少なかったため、入学定員を大きく超える結果となり、「入学定員超過率」は知能機械工学科1.45、電気工学科1.32となった。</p> <p>以上のように、平成19年度入試においては、留意事項の改善に繋がらなかったため、平成20年度入試に向けては、改善の実施計画を検討中である。⑱</p>	<p>留意事項に対する平成20年度入試における改善策については、入試委員会で実施計画を策定し、「平均入学定員超過率」の是正に努めるものとする。⑲</p>
<p>設置計画履行状況 調 査 時 (H19年4月1日)</p>	<p>(該当なし)</p>	<p>平成20年度入試については、留意事項を踏まえ、入試委員会で慎重な合否判定を行った結果、大学全体の平成20年度「入学定員超過率」は1.22倍(前年度1.18倍)、過去4年間の「平均入学定員超過率」は1.17倍(前年度1.19倍)となり、前者は若干悪化、後者は改善した(学部学科毎のデータは別添のとおり)。</p> <p>また、今次報告対象の工学部知能機械工学科および電気工学科の過去4年間の「平均入学定員超過率」は、それぞれ1.32倍(前年度1.31倍)、1.24倍(前年度1.32倍)となった。知能機械工学科は若干悪化、電気工学科は0.08倍の改善という結果となった。</p> <p>一方、平成20年度単年度の「入学定員超過率」をみると、知能機械工学科は1.34倍(前年度1.45倍)、電気工学科は1.22倍(前年度1.32倍)と両学科共に大幅に改善している。⑳</p>	<p>平成20年度の入学者確保状況については、歩留まりが読み難かったこともあり、学科間のバラツキが大きかった。平成21年度入試においては、留意事項の対象である工学部知能機械工学科の入学定員超過状態の是正に引き続き取り組むものとする。具体的には、入試委員会で単年度の入学定員超過率の目安を設定し、推薦入試から一般入試、特に大学入試センター利用試験の歩留まりを細かくチェックし、超過の是正に努める。㉑</p>
<p>設置計画履行状況 調 査 時 (〇年〇月〇日)</p>	<p>—</p>		